

# 予算の概要

## 健保を取り巻く情勢と2025年度決算見込み

私たちを取り巻く世界情勢や国内政局はいろいろな形で生活に影響を及ぼしています。2025年度の健保の財政状況は各社の業績好調に後押しされ、被保険者の収入増により保険料増収につながりました。それにより一般勘定の損益が▲2,242千円（前年より85,000千円の改善）に大幅に改善される見込みです。コロナ禍から続いた赤字スパイラルからの脱却も見えてきました。

## 2026年度予算について

2026年2月9日の組合会で承認されました

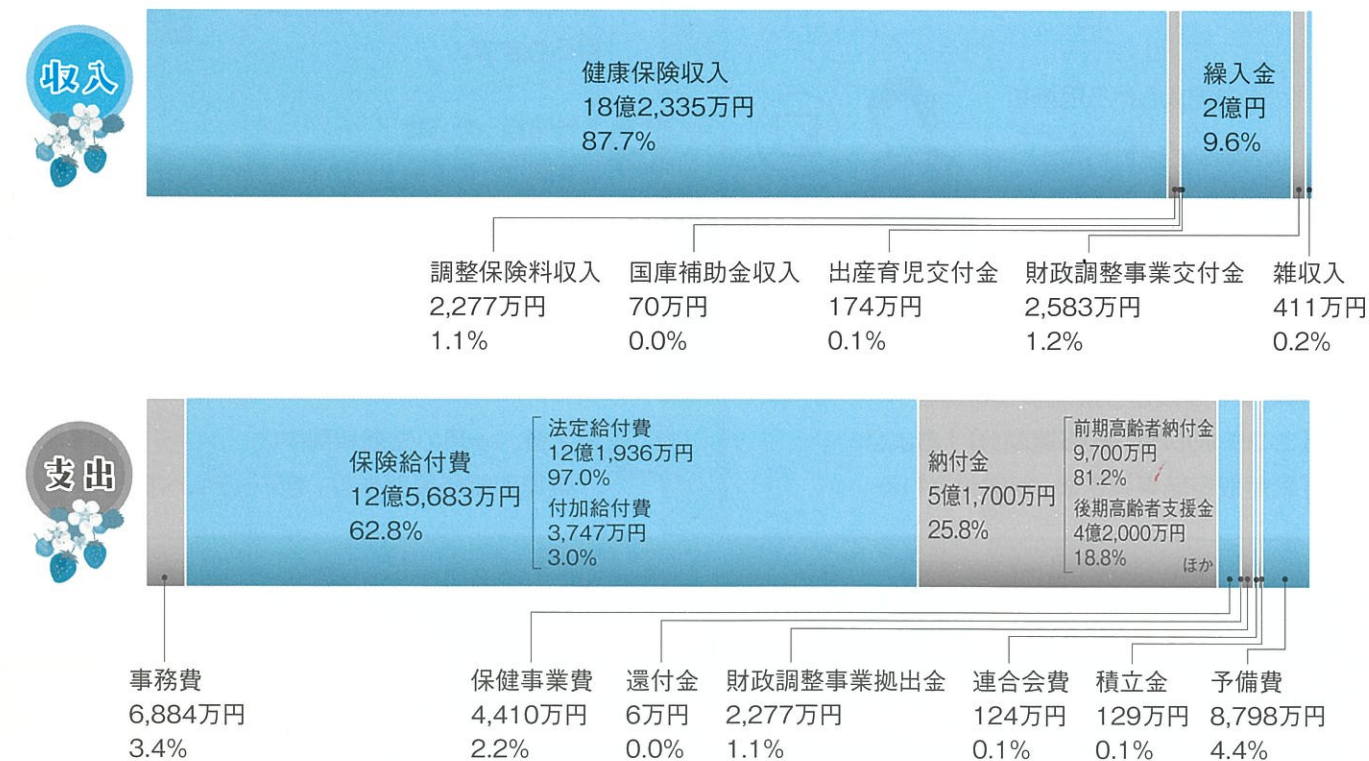
基本的には前年からの流れが続き被保険者の収入増の影響は続くものと考えられます。また、大阪のシンセンフードテック社が当健保への加入（3月）があり、4月にはJR東日本クロスステーションのグループ会社の合併により150名程度の被保険者が増える予定です。これにより保険料収入が増え年々増額する医療費・薬価の伸びをカバーできるものと考えます。

## 一般勘定

保険料率は前年同様、年間総標準報酬×99/1000（会社が55%、被保険者45%）とします。2026年度は診療報酬を見直す年で、既に報道等では全体で3%のコストアップが見込まれます。

これに対し健保関連業務のDX化を推進し、会社事務の負担軽減、リーディングタイムの短縮、被保険者と健保をダイレクトにコンタクトするなどトータルでのコストダウンを推進します。

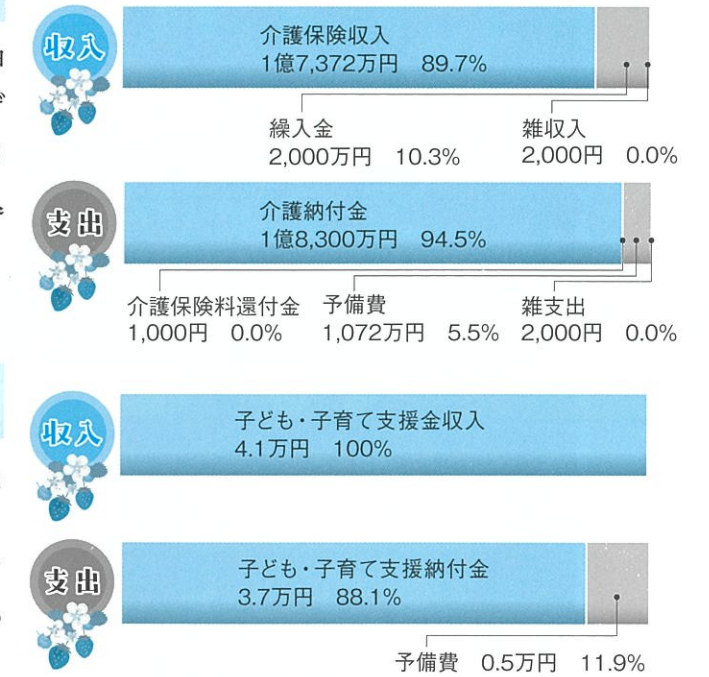
## 令和8年度 収入支出予算



## 介護勘定

介護保険料率については今後安定的に保険料が伸びることが見込まれるため、2/1000を引き下げ15/1000（会社が50%、被保険者50%）になります。これにより2026年は若干のマイナス決算が見込まれますが、積立金より繰り入れて対処します。

## 令和8年度 収入支出予算



## 子ども子育て勘定(子ども子育て支援金)

2026年4月より徴収開始になります。初年度のため国からの数値で算出した2.3/1000（会社が50%、被保険者50%）の係数で求めた金額を支援金として健保が徴収します。次年度よりは介護保険と同様の取り扱いになる見込みです。

## 令和8年度 保健事業について

今年度も、健康保険組合は加入者の皆さんの健康維持・管理を目的として以下の保健事業を実施いたします。

### 1 特典（インセンティブ）が付与される保健事業（特定健診・特定保健指導）

保健事業名称	内容	実施時期	特典（インセンティブ）
① 特定健康診査・婦人科・生活習慣病予防健診「コスモス」「ひまわり」「キキョウ」の3コース ※自己負担なし	40歳以上の女性加入者（女性被扶養者並びに女性の任継被保険者）を対象とした婦人科健診並びに特定健診	5月下旬にお知らせを対象者の方に送付。健診実施は8月頃から随時	健診受診者の方に対し500円のびゅう商品券を贈呈いたします。詳細は5月下旬発送予定の婦人科健診のご案内をご覧ください。
② 特定健康診査 ※自己負担なし	40歳以上の男性加入者（男性被扶養者並びに男性の任継被保険者）を対象した特定健診	6、7月頃にお知らせを対象者の方に送付。健診は随時受診可能	健診受診者の方に対し500円のびゅう商品券を贈呈いたします。詳細はお知らせをご覧ください。
③ 特定保健指導 ※自己負担なし	生活習慣病予防のため保健師、管理栄養士による保健指導（およそ3ヶ月間）	7、8月頃に対象者の方へお知らせを送付、面談は随時開始	特定保健指導の受診者のうち最終評価まで到達された方に対し記念品（積極的3千円、動機づけ1千円相当）を贈呈します。

### 2 特典（インセンティブ）が付与されない保健事業

- ④ 人間ドック補助事業（詳細は健保組合HPを参照下さい）
- ⑤ 郵送がん検診事業（9月初旬発行予定のけんぼだよりにて申し込みの詳細があります）
- ⑥ 出産育児支援事業（詳細は健保組合HPを参照のこと）
- ⑦ 禁煙キャンペーン事業（令和8年度からスタートする新事業です）